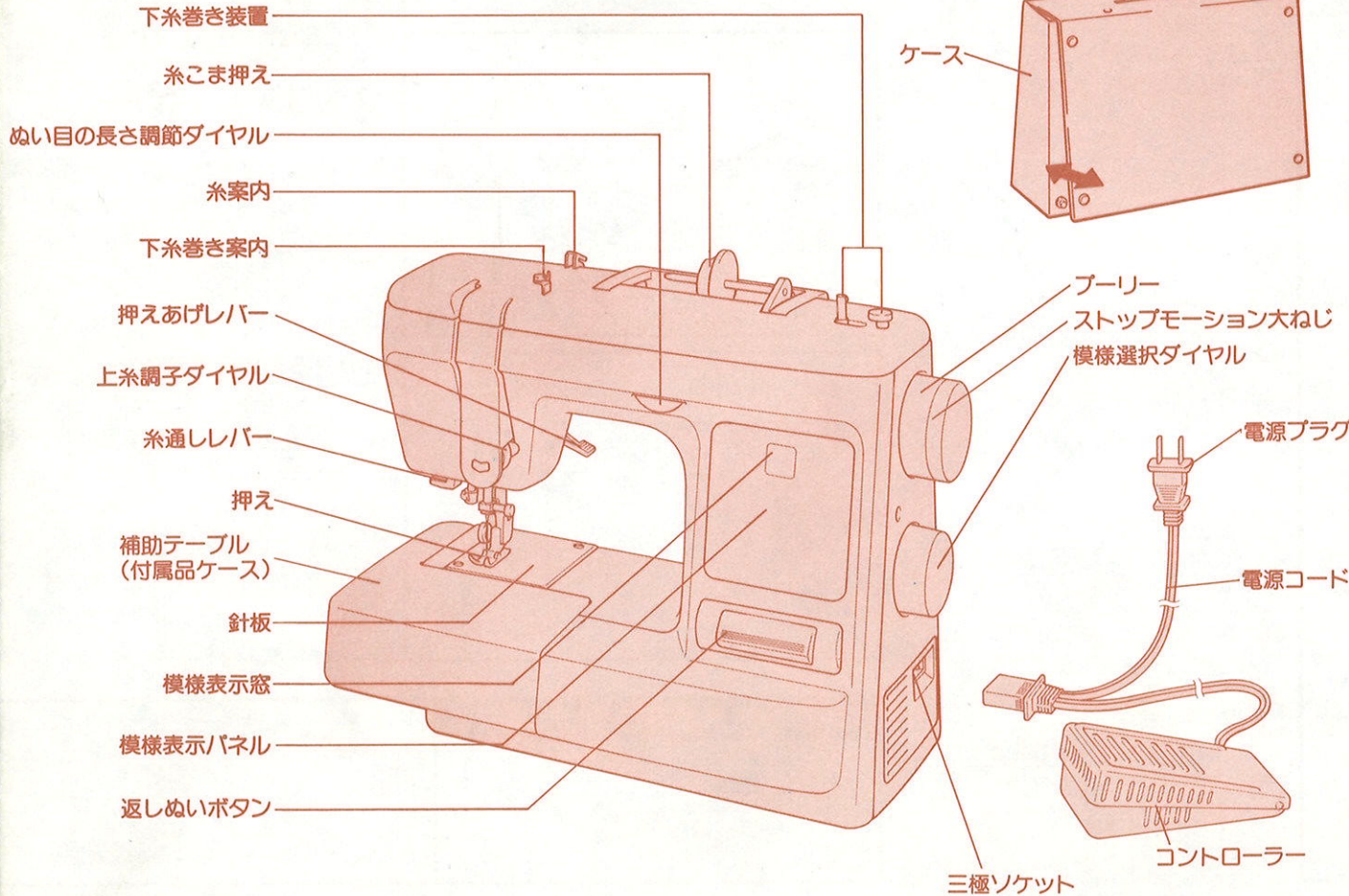


# 取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使いかたをご理解いただくために、この「取扱説明書」を最後までよくお読みください。  
お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。



- 電源コード
- ランプスイッチ
- プーリー
- 押えあげレバー
- フリーアームにするには
- 付属品ケース
- 模様選択ダイヤル
- ぬい目の長さ調節ダイヤル
- 速度調節
- 返しぬいボタン
- 送り歯カバー

## A ぬう前の知識

- 下糸の準備
- 上糸のかけ方
- 糸通し装置の使い方
- 下糸の引き出し方

## B 糸の通し方

- 基本操作
- 糸調子
- 押えの付け替え方
- 片押えの使い方
- まつりぬい押えの使い方
- 裁ち目がかり押えの使い方
- ボタン穴かがり押えの使い方

## C ぬってみましょう

- 針の交換
- ランプの交換
- お手入れ
- 注油
- トラブルチェック

## D ミシンを大切に

- 付属品
- 糸と針の選択早見表
- ぬい方早見表
- アフターサービス



# A

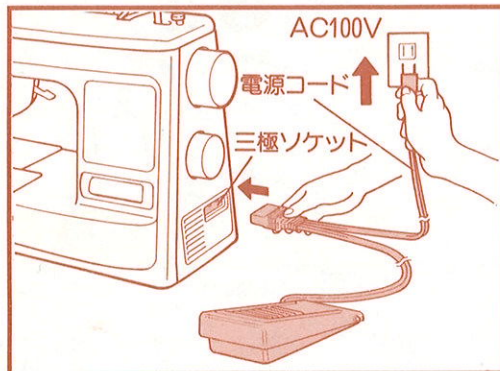
# ぬう前の知識

D

ミシンを大切に

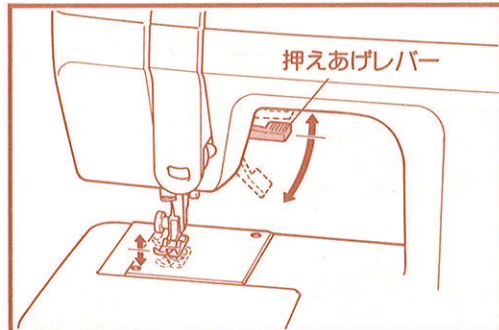


プーリーを手前に回して、針を上げます。



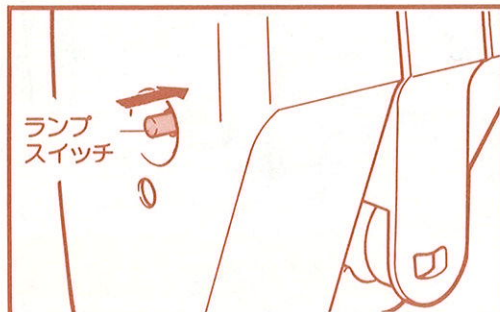
## 電源コード

- 電源プラグは、しっかりと差し込んでください。
- ミシンを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



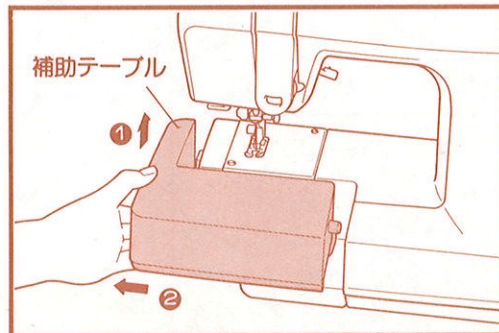
## 押えあげレバー

レバーを下げると押えが下がり、布地を押さえます。  
厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。



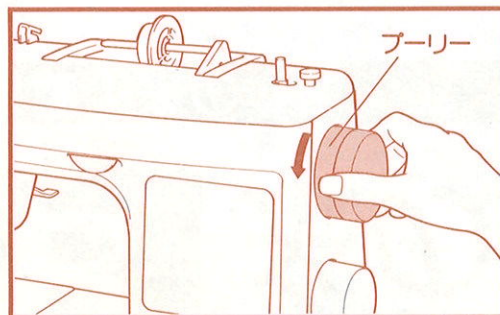
## ランプスイッチ

押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



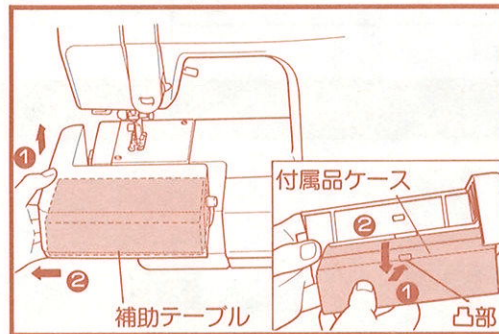
## フリーアームにするには

下糸をセットするときや筒物ぬいのはきは、補助テーブルを上へ上げてから左へ引きます。



## プーリー

- プーリーを回すと、針が上下します。
- プーリーは、必ず手前側に回してください。
  - 模様選択する場合は、必ず針を上してください。



## 付属品ケース

付属品ケースは補助テーブルの裏にあります。凸部の下を押して、下に引き出します。

糸の通し方

B

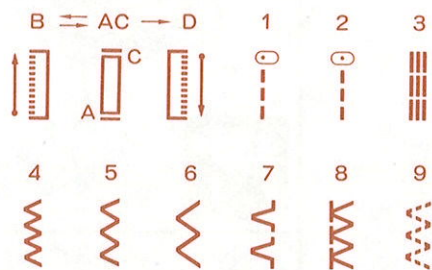
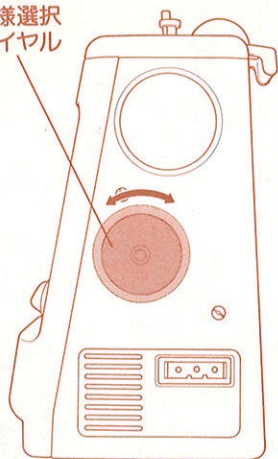
# 模様選択ダイヤル



模様選択ダイヤルを回して、模様選択をします。

- 模様選択ダイヤルは、必ず針が上がっていることを確認してから回してください。針が曲がったり、折れたりする場合があります。

模様選択ダイヤル



選択模様

ぬい目の長さ

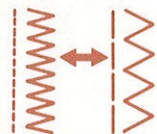
B ⇄ AC → D	1	2	3	4	5	6	7	8	9
F~3	F~4	F~4	4	F~4	F~4	F~4	1~2	4	1~2

# ぬい目の長さ調節ダイヤル

ぬい目の長さ



こまかい ← → あらい



- 選んだ模様に合わせて表示の範囲内でダイヤルを調節します。

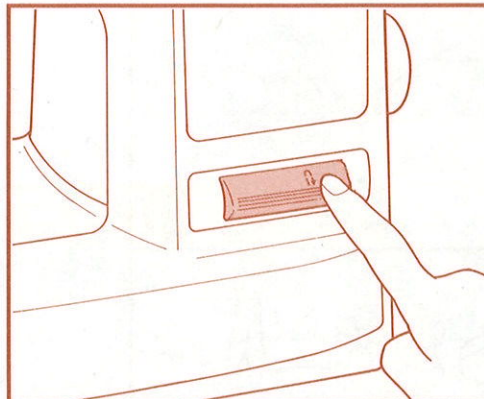
# 速度調節



コントローラーは強く踏むほど速くなります。

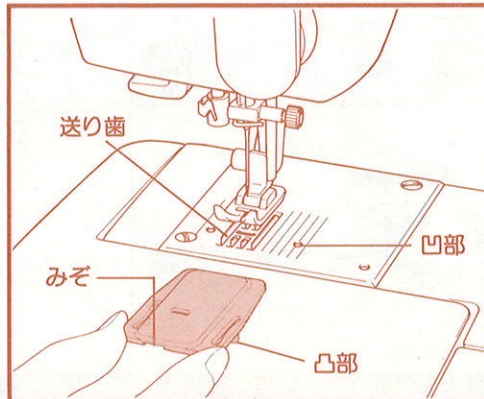
- ※ 初心者の方はミシンになれるまで、かるく(おせい)踏んでください。
- ※ コントローラーの上にものをのせないでください。

# 返しぬいボタン



押し続けている間は返しぬいを行います。

# 送り歯カバー



凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。

- ※ ボタン付けなどのときに使ってください。

# B

# 糸の通し方



プーリーを手前に回して、針を上げます。



押えを上げます。



コントローラーを踏んでスタートします。



プーリーを手前に回しません。

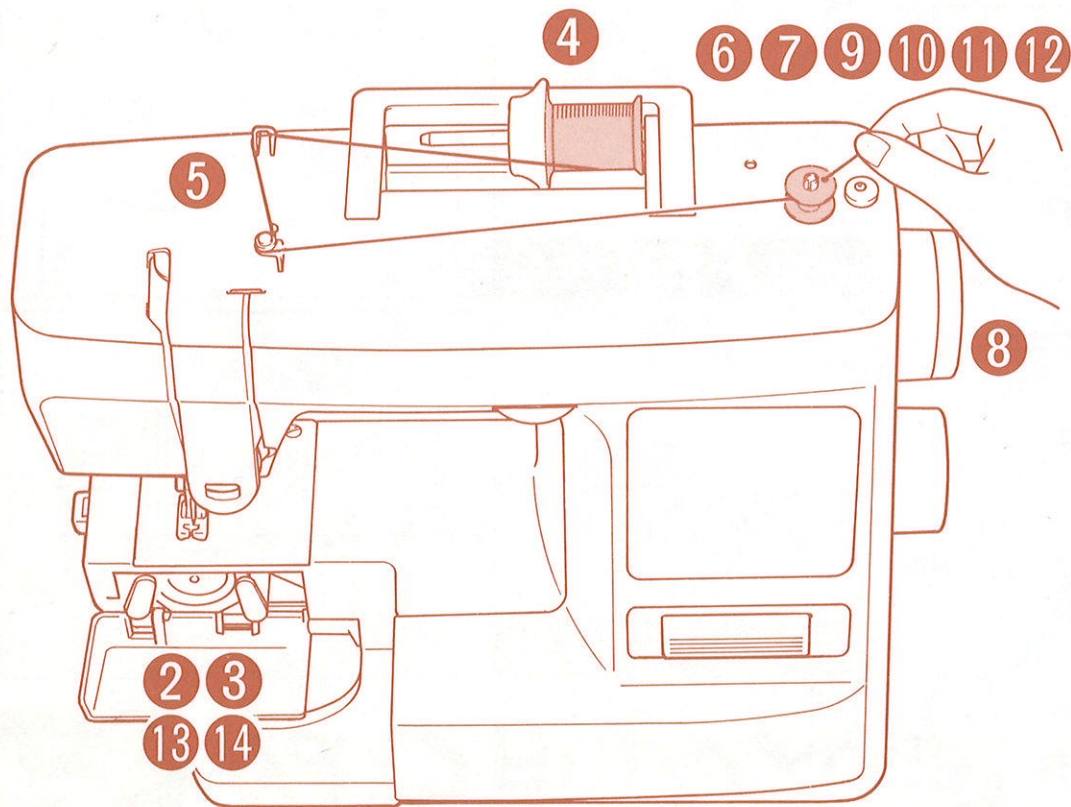


押えを下げます。

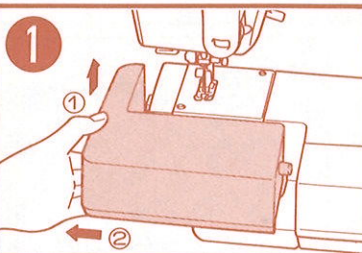


コントローラーから足を離してストップします。

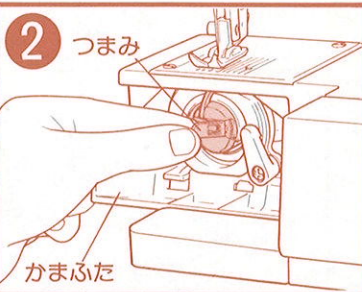
## ■下糸の準備



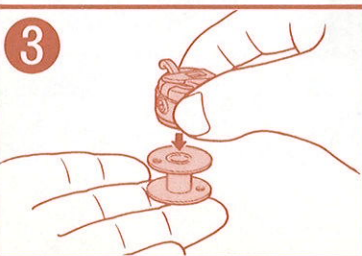
補助テーブルを取りはずします。



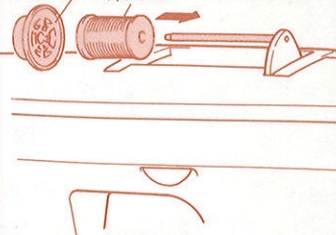
ボビンケースを取りはずします。



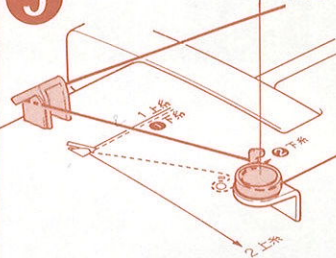
ボビンを取り出します。



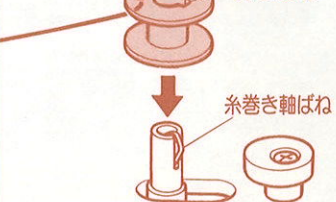
4 糸こま押え  
糸こま



5 下糸巻き案内



6 切りかけ



ぬう前の知識

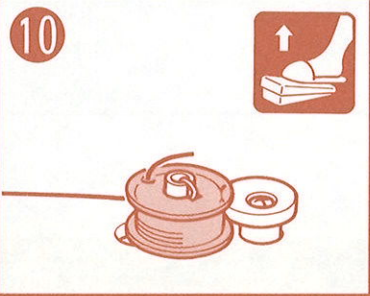
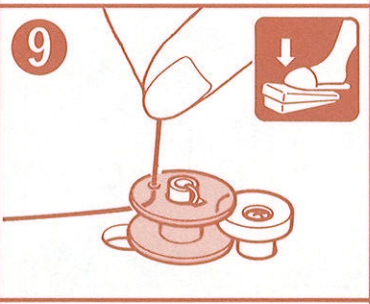
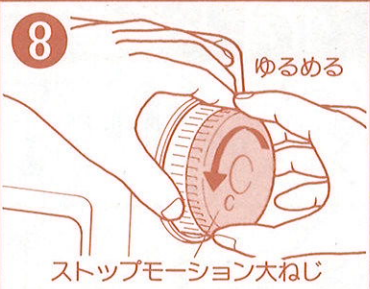
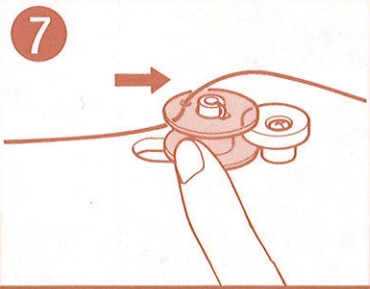


電源プラグを抜きます。

糸こまを入れ、糸こま押えをセットします。

下糸巻き案内にかけます。

ボビンの穴に糸を通し、切りかけと糸巻き軸ばねを合わせてしっかりはめます。

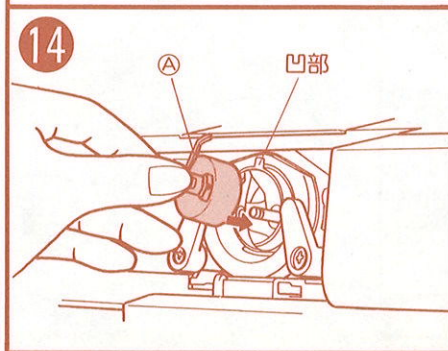
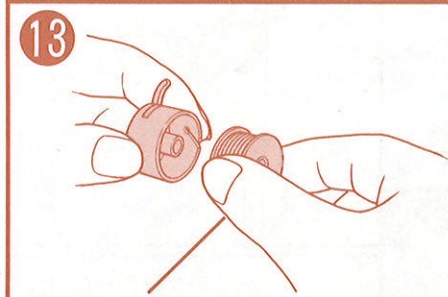
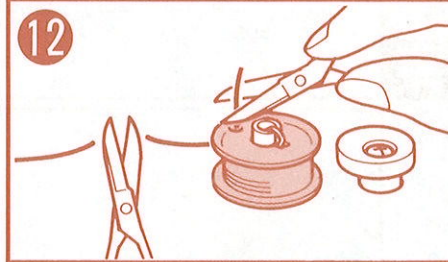
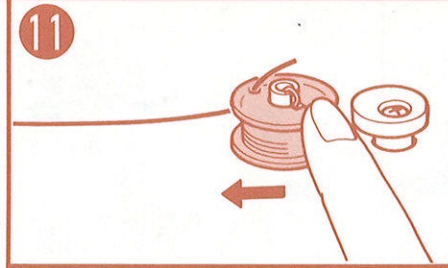


ボビンを右へスライドさせます。

ストップモーション大ねじをゆるめます。


糸端を持ってコントローラーを踏み込みます。

巻き終わるとボビンの回転は止まります。コントローラーから足を離します。



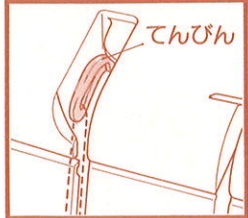
ボビンを左へもどします。

糸端を切り、ボビンをはずします。  
● 下糸を巻き終わったら、ストップモーション大ねじを締めてください。

つまみを閉じて入れます。糸を、切りみぞから調子ばねの下へくぐらせます。  
  
● 糸は右巻きになるように。

つまみを持って、軸へいっぱいに差し込みます。ボビンケースの凹部とミシンの凹部が合うように差し込みます。  
● しっかりセットされていないと、ミシンの始動とともにボビンケースがとび出します。

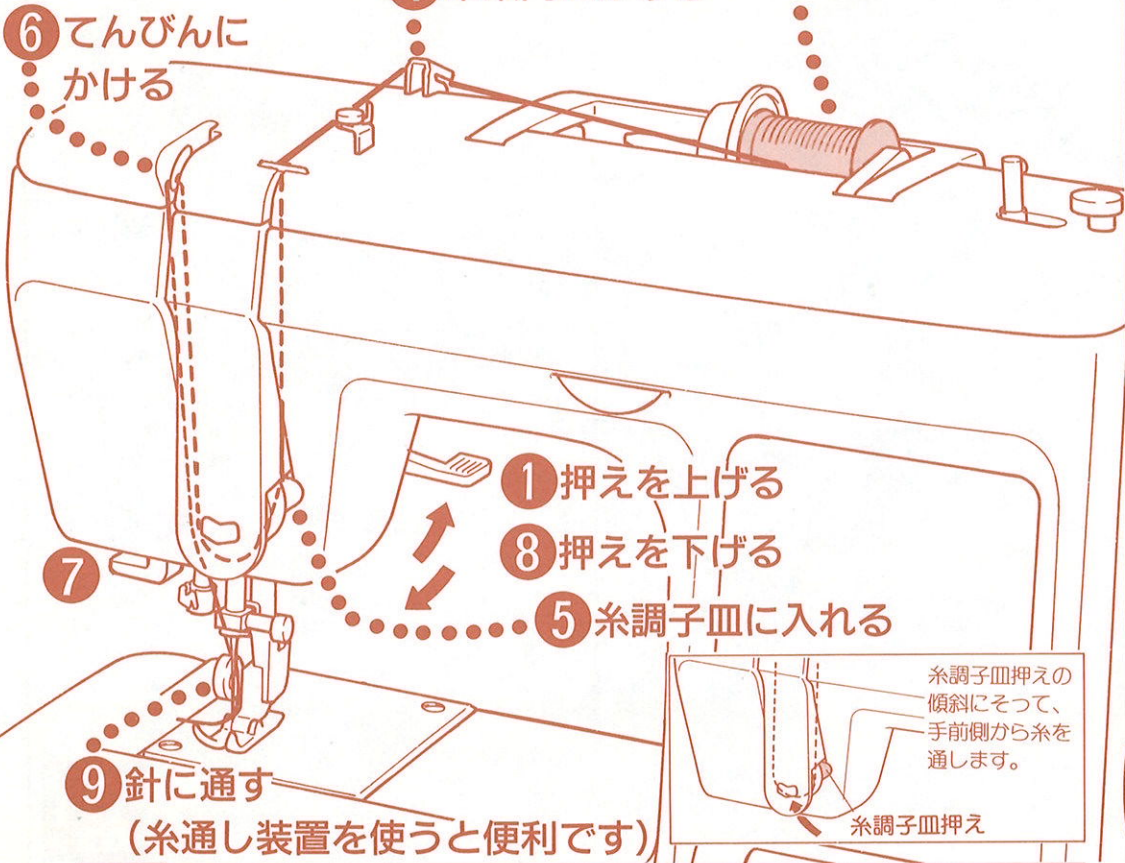
# ■上糸のかけ方



② プーリーを回して  
てんびんを上げる ③ 糸こまをセット

④ 糸案内にかける

⑥ てんびんに  
かける



① 押えを上げる

⑧ 押えを下げる

⑤ 糸調子皿に入れる

⑨ 針に通す

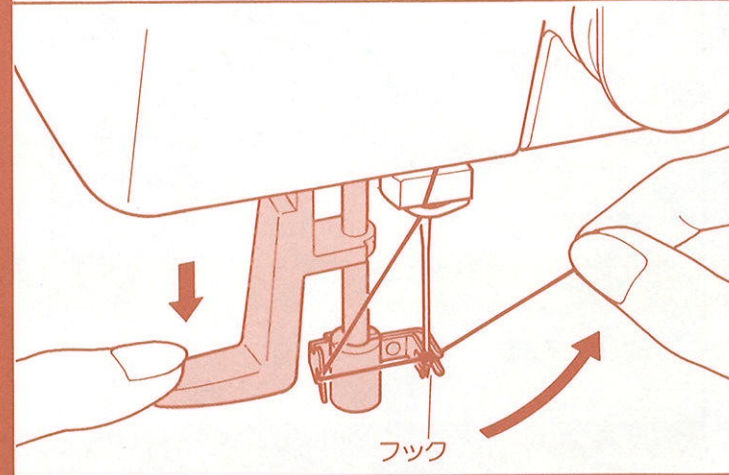
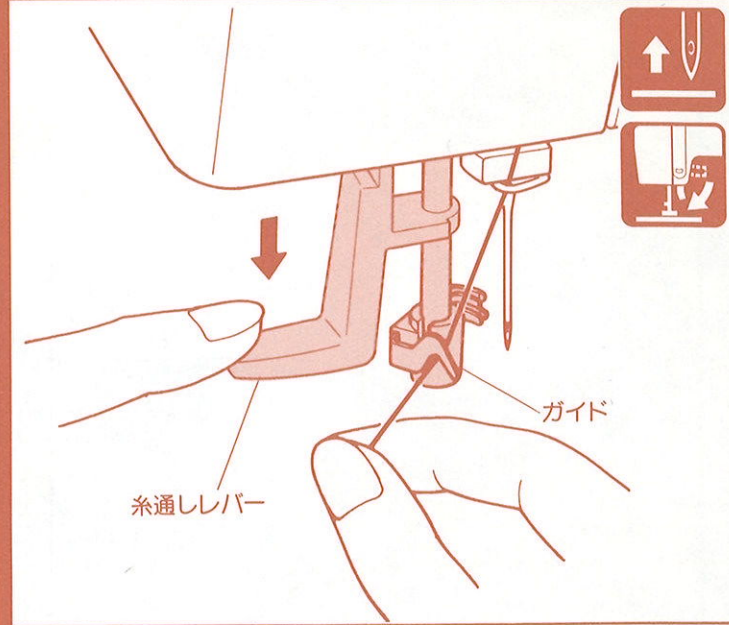
(糸通し装置を使うと便利です)



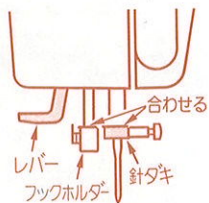
注

① をしないと、糸がらみの原因になります。

# 糸通し装置の使い方

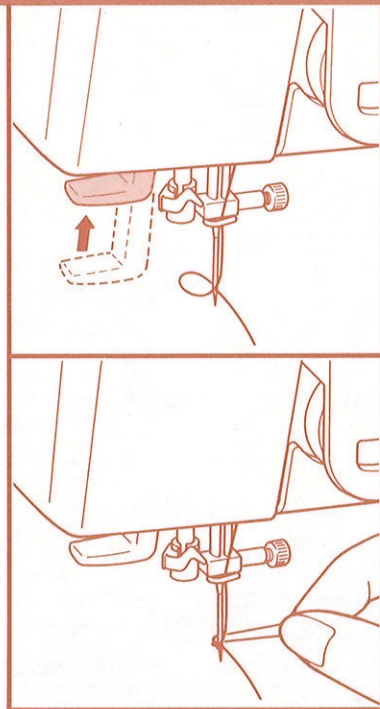


**A** プーリーを手前に回転させ針ダキの上面とフックホルダーの上面の高さを合わせます。



**B** 糸通しレバーを下げながら、糸をガイドにかけます。

**C** 糸通しレバーをさらに下まで下げ、糸をフックにかけます。  
●糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。



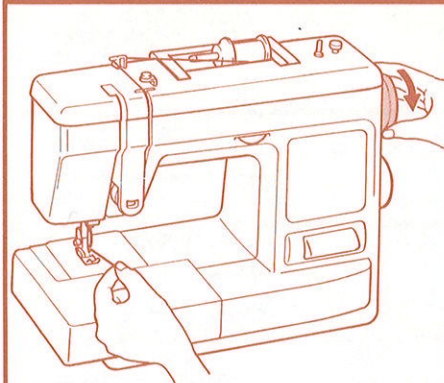
**D** 糸をかるく持ちながら、糸通しレバーを上げます。

**E** 上糸をうしろへ引き出します。

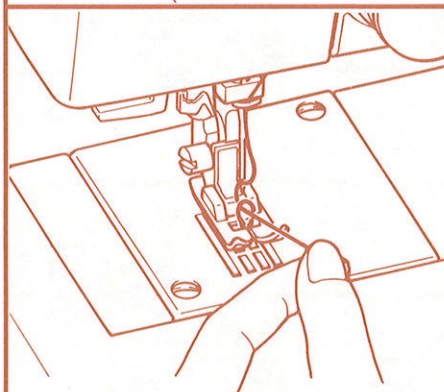
針	糸		
9 番	30番	50番	60番
11 番	30番		
14 番	30番		
16 番	20番		

●糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは左記のとおりです。なお、ナイロン透明糸は左記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

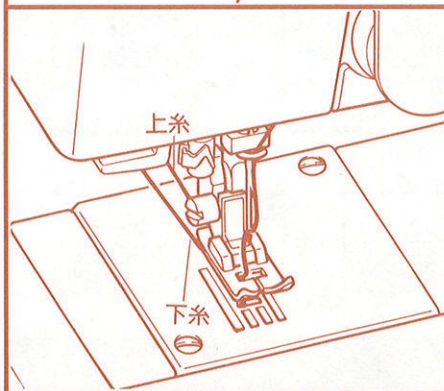
## ■下糸の引き出し方



**1** 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げます。



**2** 上糸を引きながら下糸を引っ張り出します。

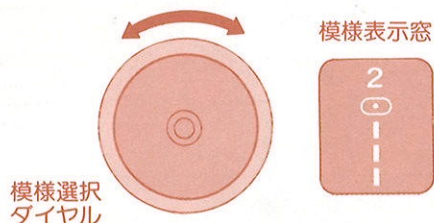


**3** 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

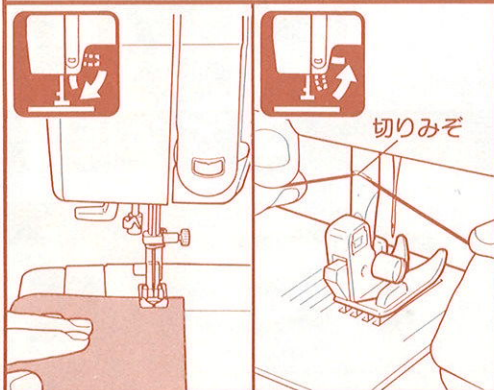
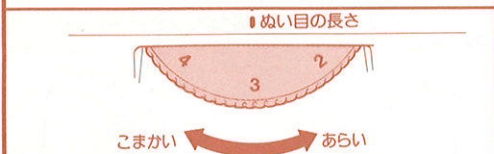
ぬってみましょう



## 基本操作



	B=AC-D	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬい目の長さ	F~3	F~4	F~4	4	F~4	F~4	F~4	1~2	4	1~2

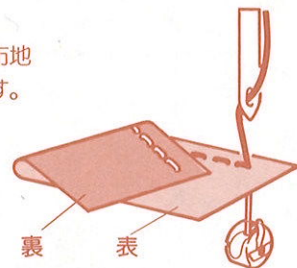


- 1 模様選択ダイヤルで模様を指定します。
- 2 指定した模様に合わせて、押えを付け替えます。  
(押えの付け替え方 参照)
- 3 ぬい目の長さをお好みに調節します。  
● 模様番号<3>と<8>は調節できません。
- 4 布地を入れ、押えを下げます。
- 5 スタートします。  
● 手はかるく布地に添えます。
- 6 ぬい終わりに近づいたら、スピードをおとしてストップします。
- 7 押えを上げ、糸を切ります。

## 糸調子

### 正しい糸調子

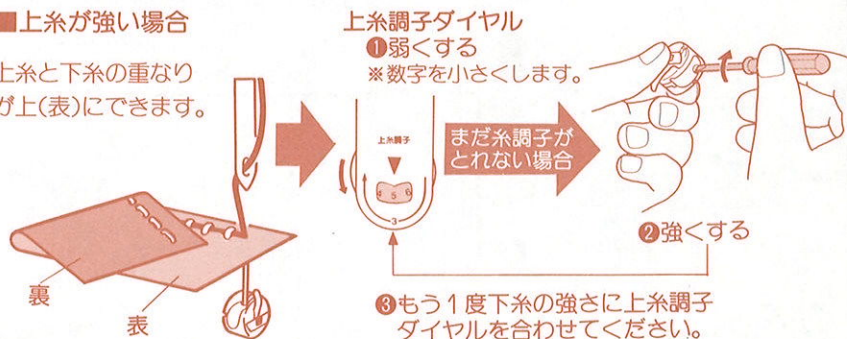
上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。



糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく、布地にしわがよったり糸が切れたりします。

### ■上糸が強い場合

上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。



#### 上糸調子ダイヤル

- ①弱くする  
※数字を小さくします。

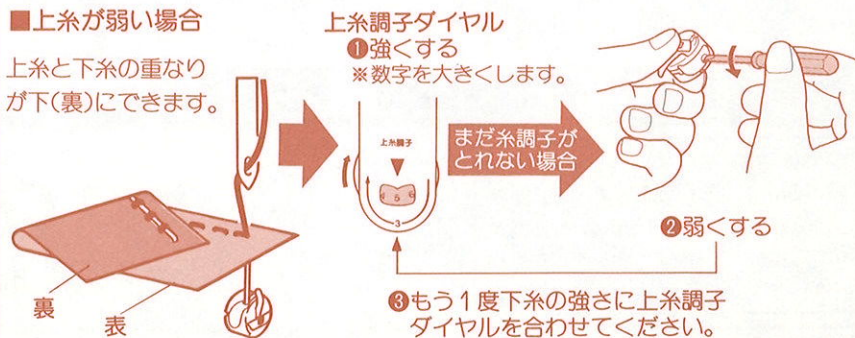
まだ糸調子がとれない場合

- ②強くする

- ③もう1度下糸の強さに上糸調子ダイヤルを合わせてください。

### ■上糸が弱い場合

上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。



#### 上糸調子ダイヤル

- ①強くする  
※数字を大きくします。

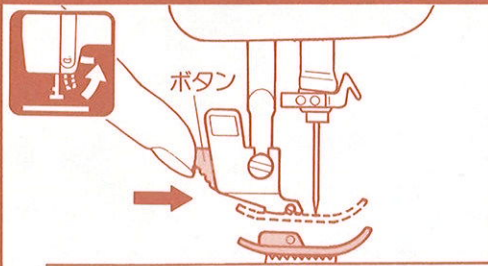
まだ糸調子がとれない場合

- ②弱くする

- ③もう1度下糸の強さに上糸調子ダイヤルを合わせてください。

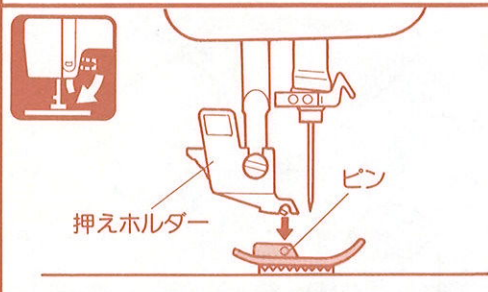


## ■押えの付け替え方



### ■取りはずし方

押えを上げ、押えホルダーのボタンを押します。

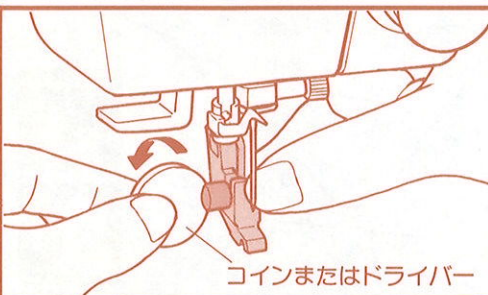


### ■取り付け方

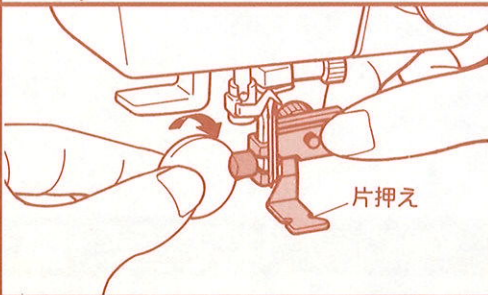
押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げます。

## ■片押えの付け替え方

押えを上げ、ねじをゆるめて押えホルダーをはずします。



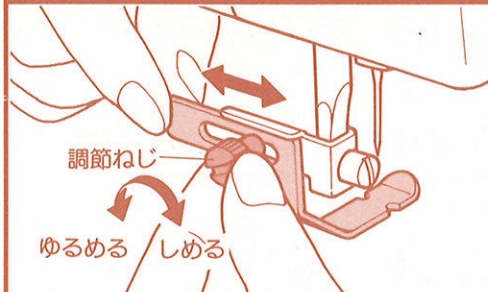
コインまたはドライバー



片押え

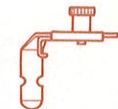
片押えを付け、ねじを締めます。

## ■片押えの使い方



ゆるめる / しめる

●片押えに付け替え、模様番号<1>、ぬい目の長さ<F~4>にセットします。

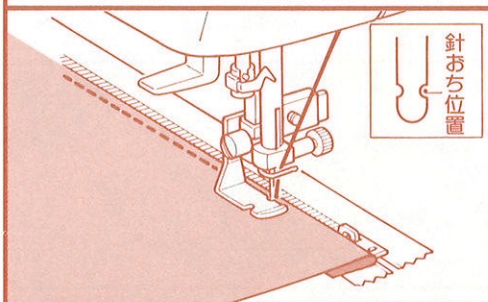


1 調節ねじをゆるめます。



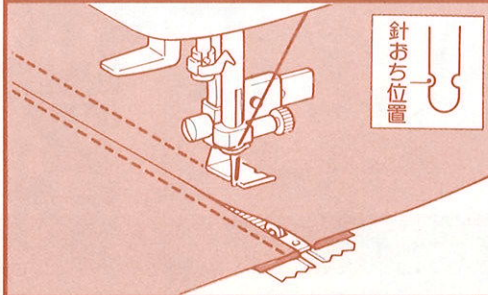
針おち位置

2 プーリーを回して針おち位置を確かめ、片押えの位置を調節し固定します。



針おち位置

3 打ち合わせの下になる方を先にぬいます。

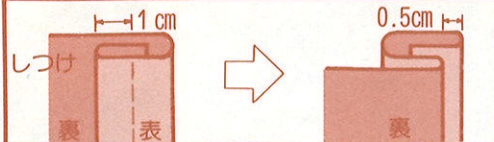


針おち位置

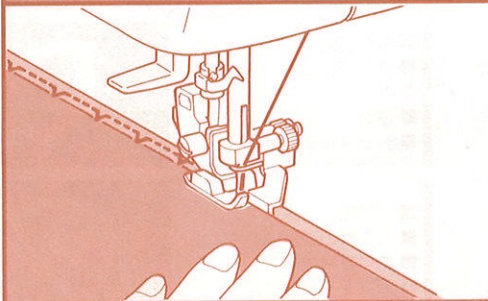
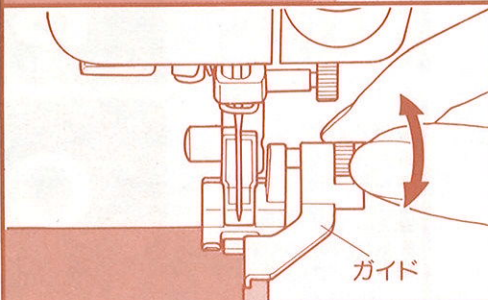
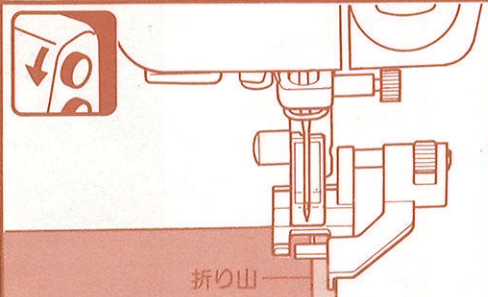
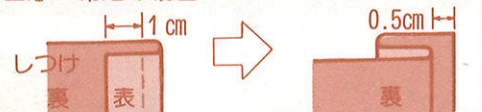
4 押えの位置を変え、打ち合わせの上になる方をぬいます。

## ■ボタン穴かがり押えの使い方

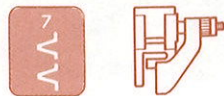
## ■まつりぬい押えの使い方



### ■厚い布地の場合



●まつりぬい押えに付け替え、模様番号<7>、ぬい目の長さ<1~2>にセットします。

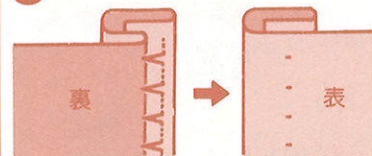


- 1 布地を折ります。
- 2 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットします。

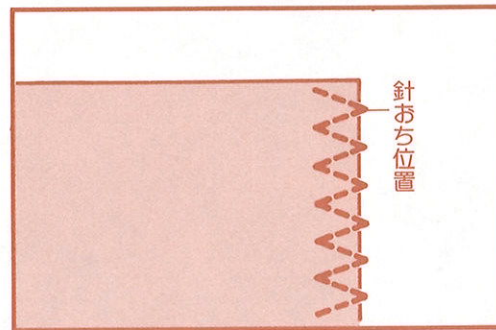
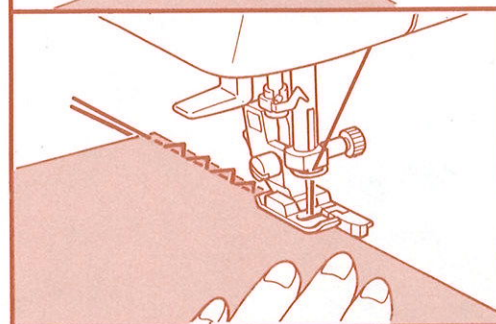
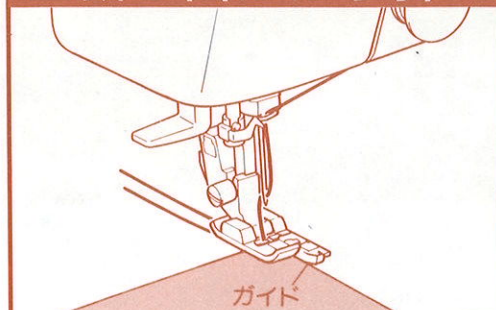
3 折り山にガイドを合わせます。

4 ぬい始めたら、折り山がガイドに合うように手を添えます。

5 表に戻します。



## ■裁ち目かがり押えの使い方



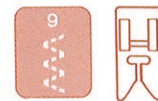
●裁ち目かがり押えに付け替え、模様番号<8>にセットします。



- 1 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。
- 2 ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。  
●裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。

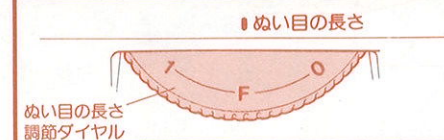
### ■のびる布地の場合は

必ずジグザグ押えに付け替え、模様番号<9>、ぬい目の長さ<1~2>にセットします。



布地は、針が布端より少し外側におちるようにセットします。

## ボタン穴かがりのぬい目調節



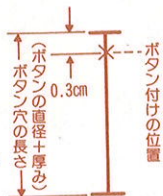
- 1 ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F>に合わせ、模様<B>をぬいます。



# ■ ボタン穴かがり押えの使い方 ●必ず試しぬいをしてください。

## ■ たてのボタン穴かがり

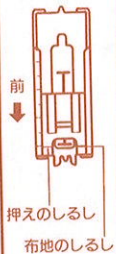
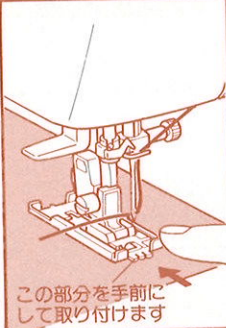
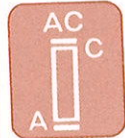
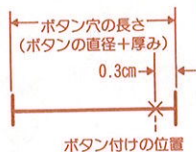
シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。



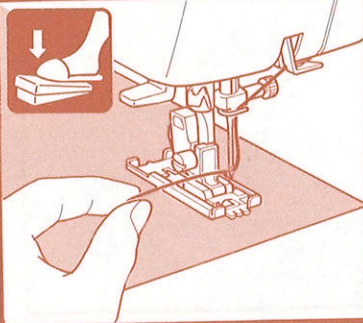
## ■ 横のボタン穴かがり

丈夫なので、ほとんどの服に使われます。

ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。



この部分を手前にして取り付けます



1 ボタン穴かがり押えに付け替え、模様番号<AC>、ぬい目の長さ<F~3>にセットします。

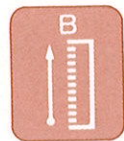
2 布地を入れ、押えの穴にボタン穴のスタート点を合わせ押えをセットします。

3 上糸を持ってスタートします。5~6針かん止めをします。針が◎の位置におちたときにストップさせます。

2 ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



3 模様<D>をぬいます。



4 模様番号を<B>にセットし、しるしまでぬいます。

針が◎の位置におちたときにストップさせます。

5 模様番号を<AC>にセットし、5~6針かん止めをします。

針が◎の位置におちたときにストップさせます。

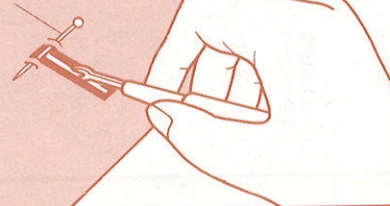
6 模様番号を<D>にセットし、しるしまでぬいます。

針が◎の位置におちたときにストップさせます。

7 糸端を裏で結び、ハッピーで切り開きます。

●ぬい糸を切らないように注意してください。

まち針



早見表



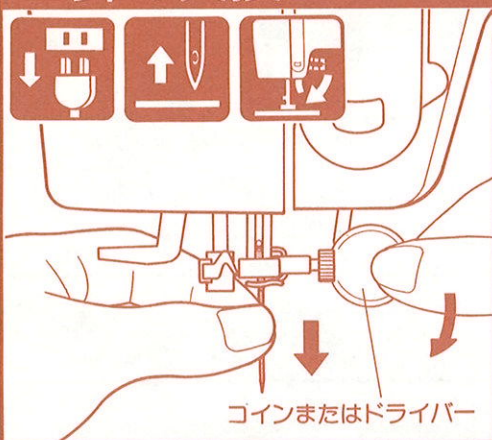
# D

# ミシンを大切に

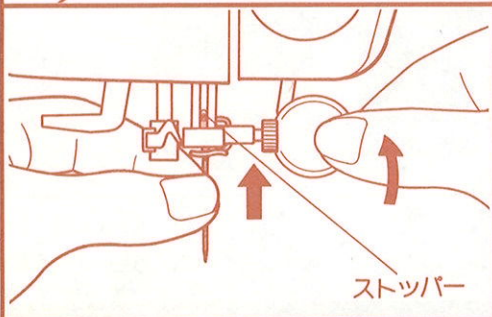
## 停電について

- 運転中に停電が発生した場合。
- 電源プラグを抜いてください。
- 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

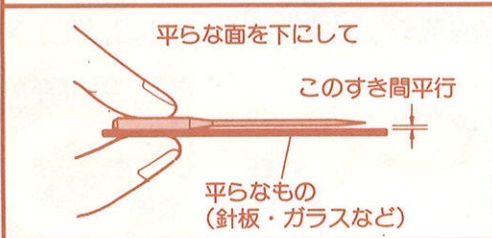
## ■ 針の交換



- 1 電源プラグをコンセントから抜いて、針を上げ押えをさげます。
- 2 ねじをゆるめて針を抜きます。



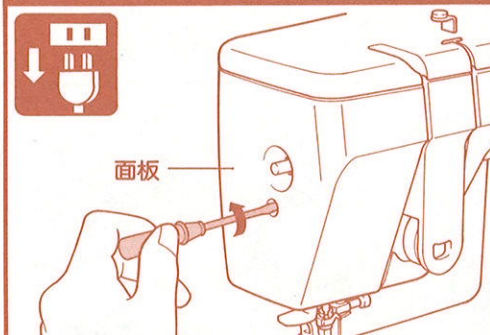
- 3 針の平らな面をうしろにしてストッパーに当たるまで差し込みねじを締めます。



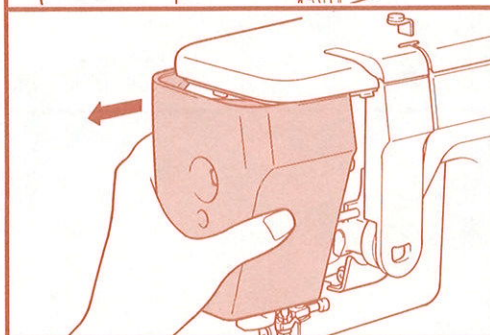
## ■ 正しい針の調べ方

## ■ ランプの交換

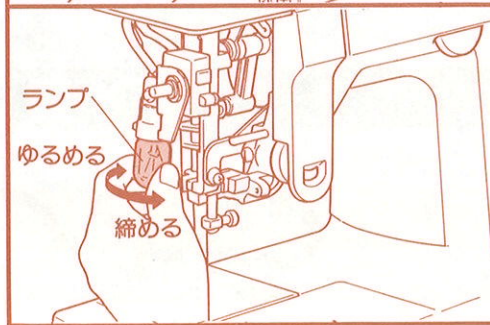
※ ランプ(100V、12W)は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。



- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 面板のねじをはずします。



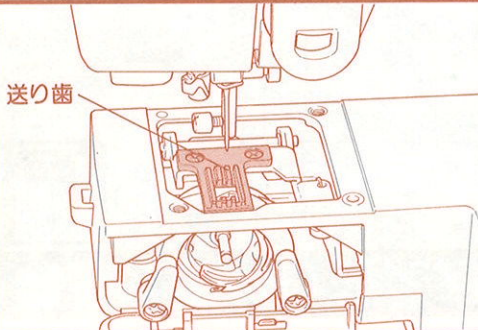
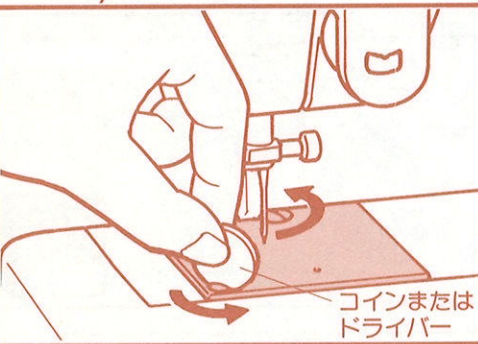
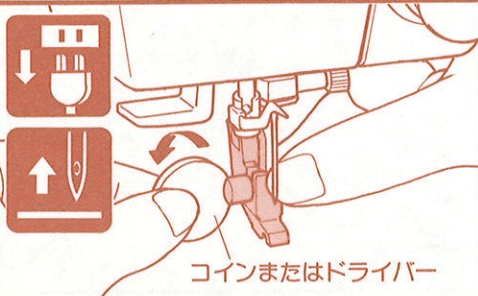
- 3 面板を取りはずします。



- 4 ランプを交換します。
- 5 面板を取り付け、ねじを締めます。

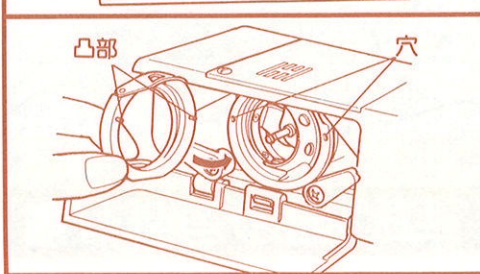
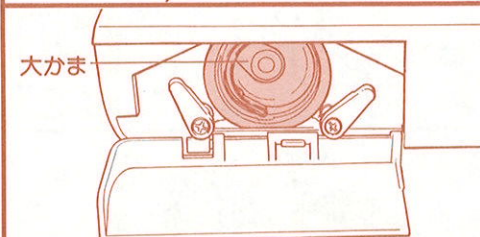
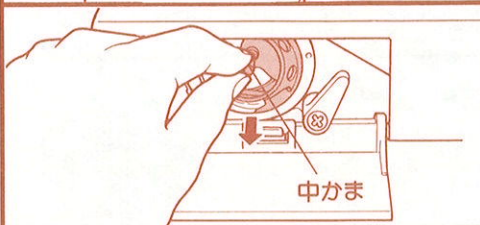
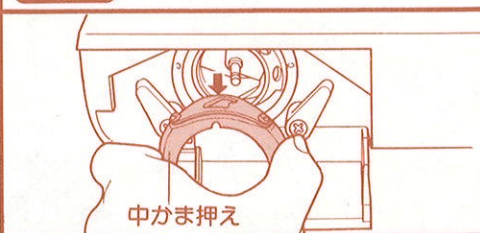
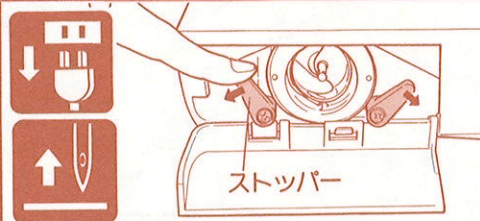
## ■お手入れ

- いつもきれいに かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふき取ってください。
- ミシンの大敵 ストープやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。



### 送り歯の掃除

- 1 電源プラグをコンセントから抜いて、押えと針を上げます。
- 2 押えホルダーを取りはずします。
- 3 針板を取りはずします。
- 4 送り歯を掃除します。針板と送り歯の間は、糸くずやほこりがたまりやすく、故障の原因になる場合があるので、ブラシなどでいつも清潔にしておきましょう。
- 5 針板を取り付けます。



### かまの掃除

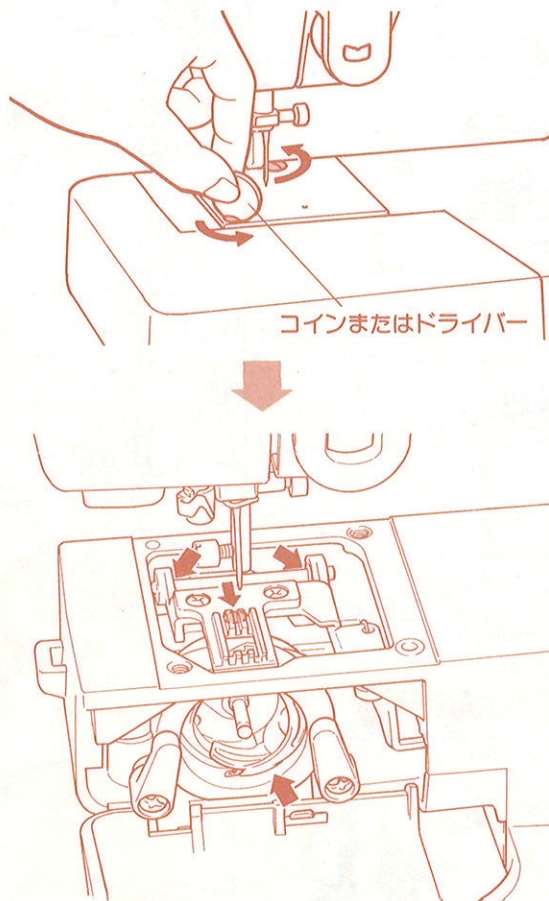
- 1 電源プラグをコンセントから抜いて、針を上げます。
- 2 ストッパーを開きます。
- 3 中かま押えを取りはずします。
- 4 中かまを取りはずします。
- 5 大かまを掃除します。
  - ほこりや糸くずなどを取り、ミシン油を少し含ませた布できれいにふきます。
  - 中かまも同じように掃除します。
- 6 中かまを取り付けます。
- 7 中かま押えの凸部を大かまの穴に合わせて取り付けます。
- 8 ストッパーを閉じます。

# 注油



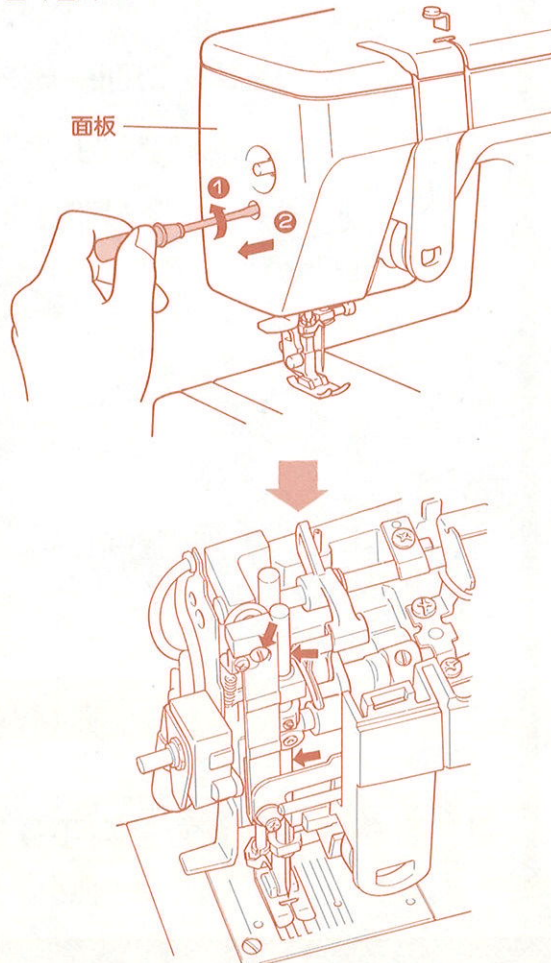
- 注油するときは必ず電源プラグを抜いてください。
- 毎日数時間ご使用の場合は、1週間に1回ミシン油を注油してください。
- 矢印の箇所付近に付着した油は布できれいにふき取ってください。

■ 2箇所のねじをゆるめ、針板をはずしてください。



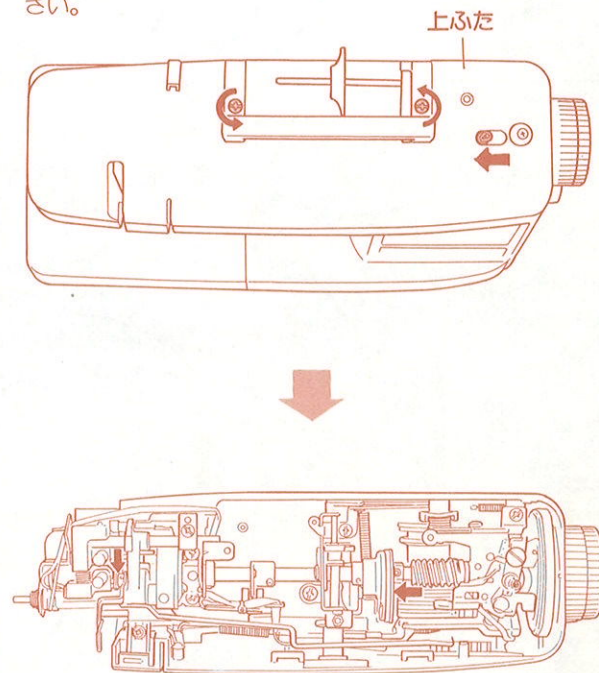
※注油後、空転させてください。

■ 1箇所のねじをゆるめ、面板をはずしてください。



■ 面板をはずして、2箇所のねじをゆるめ、上ふたをはずしてください。

※下糸巻き装置が左にあることを確認してから、上ふたをはずしてください。

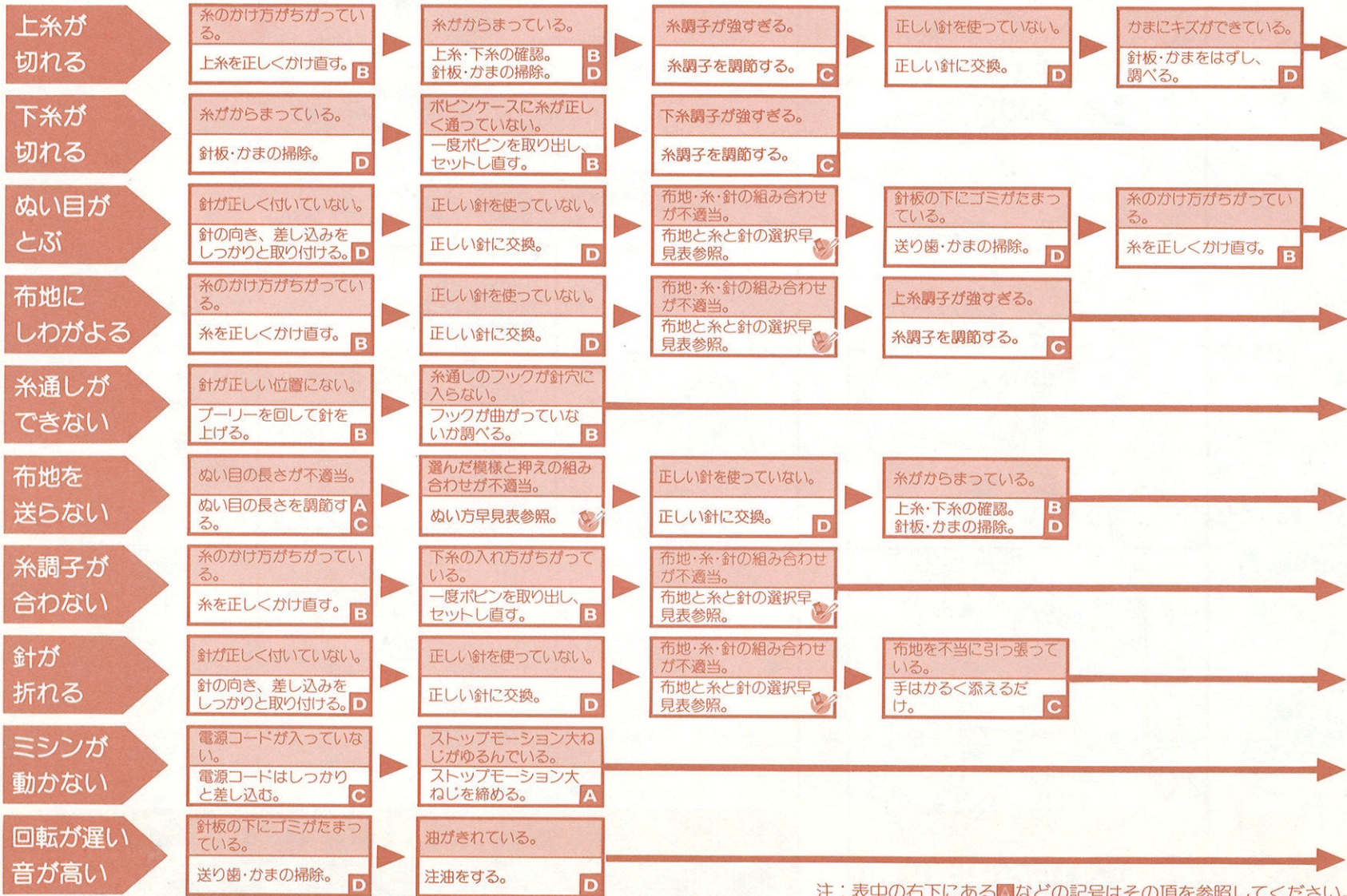


ぬう前の知識

A

# ■トラブルチェック

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。



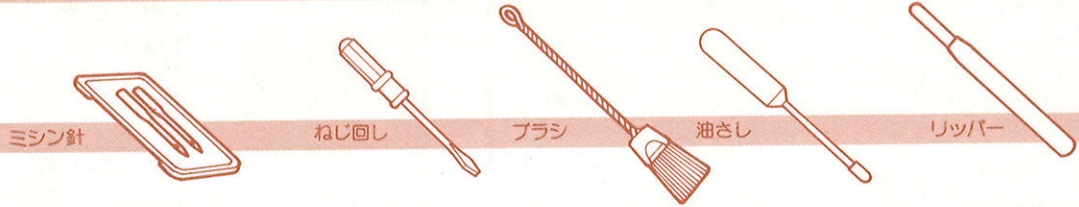
注：表中の右下にある**A**などの記号はその頁を参照してください。

●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの販売店にお申し付けください。



直線・ジグザグ押え 片押え 裁ち目かがり押え まつりぬい押え ボタン穴かがり押え 送り歯カバー ポビン

付属品



ミシン針 ねじ回し ブラシ 油さし リッパー

●付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。

糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地		薄地		厚地		のびる布地		ほつれやすい布地		ステッチ糸の場合		
	フロード	タフタ	ギャバジン	ローン	ジョーゼット	ポーラ	デニム	コナユロイ	ツイード	トモトモ	ジャージ	カタン糸	絹糸
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	用ニット糸	カタン糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	60~80	50~80	40~50	50	50		0~80	50~80	50~80
針太さ	11~14		9~11		14~16		ゴールド針 11~14		9~14		16~18		

ぬい方早見表

模様の種類	直線			三重ぬい			ジグザグ			裁ち目かがり		まつりぬい		直線	ボタン穴かがり
模様番号	1	2	3	4	5	6	9	8	7	1	A→B→C→D				
選択模様	○	○	≡	⋈	⋈	⋈	⋈	⋈	⋈	○	A B C D				
押え															
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	強力地ぬい 節力ぬい	その他 裁ち目かがり アップリケ パッチワーク			(のびる布地) 裁ち目かがり		裁ち目かがり	まつりぬい	その他 ピンタック おとしミシン ファスナー付け	ボタン穴かがり			

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。  
(詳しくは保証書をご覧ください)  
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのジューキ販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、お買い上げの日から最低8年保有しています。  
●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

札幌	〒001 札幌市北区北22条西5-18-246	TEL: (011)737-6821
仙台	〒983 宮城県仙台市宮城野区萩野町1-12-4	TEL: (022)239-3601
都山	〒963 福島県郡山市富田町字稲川原25	TEL: (0249)25-4100
新潟	〒950-16 新潟県五泉市三本木3-3-47	TEL: (0250)43-4451
足利	〒326 栃木県足利市大町6-4-2	TEL: (0284)41-5567
東京	〒101 東京都千代田区西神田2-4-1	TEL: (03) 265-8741
静岡	〒422 静岡県静岡市緑が丘町1-15	TEL: (0542)82-2951
名古屋	〒460 愛知県名古屋市中区丸の内3-7-9	TEL: (052)962-7631
大阪	〒543 大阪府大阪市天王寺区上本町5-3-5	TEL: (06) 768-3651
大倉敷	〒711 岡山県倉敷市児島下之町2-1593-15	TEL: (0864)73-0355
広島	〒730 広島県広島市中区橋本町6-11	TEL: (082)227-5781
福岡	〒830 福岡県久留米市御井旗崎1-6-15	TEL: (0942)44-7921

◎ジューキ製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。  
※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 ジューキ 取扱店

本社：〒104 東京都中央区八重州2-7-2  
(八重州三井ビル)  
TEL: (03)272-2851~7